

# 平成22年度蔵前ゼミ開講にあたって

蔵前工業会 神奈川県支部  
前支部長  
錦織經治 (S37年窯業科)

# 蔵前工業会とは

- 蔵前工業会は、唯一社団法人格を持つ同窓会で、日本工業倶楽部に次ぐ第2号の社団法人として認められ、会員相互の親睦のみならず、日本の科学技術発展を担って行くという、崇高な目的を持った東工大の同窓会である。

## 何のために「蔵前ゼミ」を開講するのか

- 東工大のブランド力
- ここ数年大学を卒業し第1志望の企業に就職した学生の比率は東工大が1位(2位東大)
- これは東工大のブランド力の象徴(約2千人の卒業生中約半数が、学部は他大学で、修士の2年間のみで、このブランド力を手にする)

## それでいいの？

- 修士卒で就職する大部分の方の年齢は24～5歳ですから、定年まで仕事をすると60歳で35年間、65歳なら40年間（仮令会社を変わったとしても同じ）も仕事をするのですから・・・「就職はゴールではない！」のです。

## 東工大を比喩する皮肉な陰口・・・課長養成大学

- 会社に依っては、「課長」「グループリーダー」「主席」等呼び名は色々ありますが、要は「中間管理職の養成大学」との皮肉なのです。無論いきなりもっと上の上級管理職や幹部社員には成れませんから、その過程での課長なら結構ですが、組織の意思決定の場から外れた中間管理職で、書類の課長欄に捺印するだけの中間管理職となると、普通40前後で課長になりますから、それから後の25年間、長すぎませんか？企業は何時も好業績とは限りませんから、組合の保護がなくなった中間管理者はリストラの対象にすらなりかねません。そして、この皮肉な意味での「課長」にはそうした意味が言外に秘められているのです。

## 一橋大の場合

- 東工大が理系の単科大学なのにたいし、一橋は文系の単科大学です。第1志望の会社への就職という意味では、2位の東大3位の京大の更に下です。しかし卒業後の年数+2年を加味して比べると、中間管理職までのスピードは東工大と遜色なく、上級管理職では東大と肩を並べ、幹部社員となると1位ではないかと言われているのです。私は何も出世競争を煽る心算はありませんし、今の処東大や一橋と大きな差があるわけではありません。ただ皮肉な傾向が出掛かっているため、この様に陰口を言われ始めたのです。

## 一橋大の場合

- 一橋大の就職戦線に於けるブランド力も、文系だけを考えると東大に引けをとりませんが、凄いのは卒業後の40年を考えた動きがあるということです。と云って社内に学閥を作るような動きではなく、寧ろ社外で活躍中の先輩達の体験を広く取り入れ活かして行こうとしています。

## 理系(技術系)人間、文系(事務系)人間

- 一般的に理系人間は、文系人間に比べて、人付き合いが下手と云われています。これはどうしても文系に比べて、自分の好きな狭い専門分野を選んで勉強しているため、それに近い専門分野(技術系)以外の人との付き合いが少なく、情報の範囲が狭くなり勝ちです。この傾向は、東工大という理系の単科大学の同窓会の中でも見られ、機械とか電気とか、化工とか、各々の科別の同窓会は活発で関心が高いのに、全体の活動への関心は高くないのです。この傾向は、会社に入っても見られます。

## 理系(技術系)人間、文系(事務系)人間

- 中間管理職以上になると、仕事の成否の鍵は人の活用が握っていると言っても過言ではありません。一昨年の第4回蔵前ゼミで、富士通の渡辺部長が「上司を説得しないことには何も動かない！」と言っておられましたが、将にその通りです。一方事務系の人には平社員の頃から、人との協業(活用)こそが仕事ですから、そうした事には長けているのです。しかし事務系の中ではそれだけでは当たり前で差が付きませんから、自分の卒業した大学の人脈を含む情報(それがブランド力)の活用へと発展するのです。

# 東工大の強みと弱み

- 強み 未曾  
有の大不況でも、第1志望の企業の就職出来る確率が高いのは、それ自体は強みだが、その理由は、過去の卒業生の技術レベルが高評価（理科好き人間で、実力があり、日本を代表するような高いレベルの先生に指導され、企業側からは即戦力）

# 東工大の強みと弱み

- 弱み
- 単科大学で、専門以外の事に興味を示せない典型的理系オタク人間が多く、適用範囲が狭
- い人が多い、これは理系一般にも言える事だが、東大のような文系を持つ大学は、仮令理系であっても文系の影響で情報源が広く単科大学の東工大ほどではない。→これが「課長養成大学」の皮肉の一因に。

## (一橋大—如水会)と(東工大—蔵前工業会)

- 一橋大の同窓会である、如水会への入会率は70%と高加入率、これに一番力があったのは先輩たちの経験・体験談を中心に据えた「一橋ゼミ」と云われて、大変な人気講座と聞いています。そして卒業後も情報収集活動の一つとするため、聴講する卒業生も多いとのことで、同窓会を活用しています。

## (一橋大—如水会)と(東工大—蔵前工業会)

- 一方我が蔵前工業会の入会率は、30%以下、それも卒業生の半数が大学院となってからは、年々下がりに続けています。そこで一昨年から、我々も如水会の成果を真似て、「蔵前ゼミ」を開講したのです。この「蔵前ゼミ」では講師の先輩の貴重な講演だけではなく、その後の懇親会に多くの先輩方(殆んどが企業の幹部経験者)が参加して、生の体験談を話してくれますし、講演会で聞けなかった事も、話して貰えます。

## (一橋大—如水会)と(東工大—蔵前工業会)

- 皆さんが入社して見れば分かることですが、この幹部社員経験者クラスの方と直接話す事が出来るようになるには、大手の会社では卒業後何年も掛るのが普通です。懇親会ではそうした方々と直接話す機会があり、更に場合によっては、就職希望先や内定先会社のOBの方と話せる機会もあるかも知れません。ですから時間の都合で講演会を欠席した方も懇親会だけは出て下さい。

何になったか」ではなく、  
「何をやれたか」、「何をやったか」

- 私は皆さんに「出世競争をせよ」とか、「東工大 関」をと言っているのではない。何かやろうとしても、それが出来る「意思決定」の場に居なければ何も出来ないと言う事です。「意思決定」の場に居れば情報は入ってくるが、居なければ入ってこない。今の時代課長レベルでは一兵卒と同じで、大きなやりたい事は殆んどやれない。ですから情報網は広く、人脈を広くするよう今から心掛けて下さい。そしてその人脈造りの第一歩が、「蔵前ゼミ」であり「蔵前工業会」だと思って活用して下さい。

何になったか」ではなく、  
「何をやれたか」、「何をやったか」

- そして卒業までに忘れずに「蔵前工業会のカード会員」になる入会手続きをお済ませ下さい。この「蔵前カード」はVISAのゴールドカードにも拘わらず通常1万5百円の年会費は無料ですが、海外旅行保険の5千万円、大きな空港でのラウンジ使用等特典は同じです。

# 皆さんの目指すべき技術者像(10か条)

- 1、自分が専門として勉強した分野では、その道のエキスパートを目指し、特に自分自身がエキスパートだと思うこと。
- 2、関連するより広い分野でも、その道を専門としている人と互角にコミュニケーションがとれる技術レベルを持つこと。
- 3、更に一步進んで、自分の専門外や新しい分野へも柔軟に参画出来る能力を持つ人。
- 4、現場に精通し、現地で現物を確認しながら仕事を進める事が出来る人。
- 5、良好な人間関係や幅広い人脈があって、それが情報源として活用出来、色々な場面で助けを借りることが可能な人。

## 皆さんの目指すべき技術者像(10か条)

- 6、社会秩序・正義に適った行動がとれる人。
- 7、経理や会計の勉強をして、自分の参画するプロジェクトで活用出来る人。→コスト意識(この意識が無いとプロジェクトの中心選手やリーダーにはなれない)
- 8、自己主張の大切さ・・・自分の頭で考え、自分の言葉で話すことが出来る人。
  - →現代は最早沈黙は金ではない。
- 9、英語でコミュニケーション出来る人。
- 10、拘りながらも自己を観察出来、変えるべき所は変えられる人。

## 平成22年度蔵前ゼミ開講にあたって

- そして「明るく元気に活動する」を心掛けて下さい。

# 大学の先生方へ

- 東工大が大学としての評価を更に高める為には、企業で云う「商品」の評価が上がらなければなりません。大学の「商品」とは、学問の府としての研究成果と教育の場としての卒業する学生が社会に出てどの様な活躍をするか。の2点だと思います。伊賀学長の言われる「同窓力」とは、この事を指していると思います。我々同窓会は、このバックアップに力を注ぎますが、先生方におかれても、学生が卒業する時に一言「蔵前工業会カード会員への入会手続きを忘れずに済ませよ」と言って頂きたいのです。

# 大学の先生方へ

- 東工大の先生方ご自身の入会率は50%を越えており、全体の30%に比べて高いと云う人がおります。しかし御自分の卒業された大学で教鞭をとっておられる方ならば100%に近い数でもおかしくは無いと思います。更に他大学を卒業された先生方であっても東工大の教職員であれば、蔵前工業会へ入会出来ます。未入会の方々は、学生の長期的指導の立場から、この際ぜひご入会下さい。